

大会名：第10回福島空港公園杯少年フットサル大会

日程：平成28年11月5日（土）～6日（日）

会場：福島空港公園 緑のスポーツエリア

参加：6年生

帯同：FCAIlez レッド 佐藤コーチ

報告：佐藤コーチ

初日・予選リーグ

アーレッド 4-1 常葉

アーレッド 0-1 桜

アーレッド 1-1 千里

フレンドリートーナメント

1回戦 アーレッド 5-0 猪苗代

2回戦 アーレッド 8-1 アーレホワイト

決勝 アーレッド 1-3 富田

結果 10位（16チーム中）

11月5日、6日に福島空港公園で開催されました福島空港公園杯少年フットサル大会に参加しました。今回6年生のみの参加で3チームに構成されました。その中のFCアーレッドを担当したので、報告いたします。

今回、土曜日に富田東小学校にて学校行事があったため、リフティング記録だけのチーム構成だけではなく、人数も考慮したメンバー構成となりました。

初日の初めの人数がフットサルぎりぎりの5名ということで、選手たちも自分たちでやらなくてはならないという強い気持ちを持っていたと思います。2試合目などは足の痛みをこらえてプレーしていたり、体力も限界近くになり重くなっている足を動かしながらプレーしていました。そんな中、午後からでも急ぎ駆けつけてくれた選手たちがいて、選手たちのサッカー、アーレに対する思いを感じると同時に、うれしく思いました。朝からいた選手たちも心強く感じたと思います。

大会初日の第一試合が始まる前、選手たちに「落ち着いてプレーしよう」というテーマを与えました。慌てて蹴りこんでしまうプレーや適当なプレーではなく、「周りを見ること」そして「ファーストタッチを大事にしよう」ということを伝えました。6年生になりこれまで練習してきたものを確実に出せるようにという思いがありました。

この大会の試合の中ではアーレホワイトの同門同志の対決が一番落ち着いて、周りが見

えていて、そして一つ一つのプレーが思ったところに表現できていたと思います。それは、相手チームを知っていた分、負けられない気持ちが強くなり、そして非常に集中できていたのかもしれませんが。先制点を取ることができたということも大きかったかもしれません。選手たちは自分たちで判断して、ある程度正確なプレーはできます。しかし、それを何回も続けて正確にプレーすることができません。それは、相手からのプレッシャー、体力、スキルが身についていないなど多くの理由があると思います。これからも良い判断と正確なプレーを心掛けてもらいたいですね。

今大会最後のフレンドリー決勝の富田戦はハッキリ言ってテーマの「落ち着いたプレー」とはかけ離れた内容でした。いつも以上に力も入り、ボールを奪おうと必死になってくらくらしていました。相手を抜こうと体をぶつけてあっていました。シュート、パスするボールは強くなってしまっていました。

しかし、私は選手たちから「落ち着いたプレー」以上の素晴らしい戦いであったと感じました。負けたくないという強い気持ちを十二分に感じるプレーでした。得点したいという強い意志を感じることができました。選手ひとりひとりが全力で負けない気持ちを込めたプレーができました。

結果として、敗れはしましたが、選手たちからこぼれた悔し涙は必ず成長につながると思います。

6年生としてはあと数か月となりましたが、自分の気持ち、意思を持ち続けて、確実なプレーができる選手になってください。

アーレブルーの選手たち、優勝おめでとう。アーレ6年生の思いを感じていたと思いますが、そのプレッシャーも感じさせないほど圧巻の決勝戦だったのではないのでしょうか。あと数か月の6年生としてのアーレの時間をみんなで大切にしていきましょう。

最後に、大会運営の都市公園緑化協会の皆様、大会参加チームの皆様、素晴らしい試合、大会となったのも皆様方のおかげと思います。ありがとうございました。

また、応援に駆け付けてくださいました皆様ありがとうございました。自分の子のチームはもちろん、他のチームも応援していただき、心強く感じながらプレーできました。今後どうぞよろしくおねがいたします。

コーチ：佐藤

